

- (1) 日時および場所 2023 年 9 月 18 日 13:30~14:20  
佐賀大学農学部大講義室 (対面・オンライン併用)
- (2) 代議員の現在数 30 名
- (3) 出席した代議員の数および出席者氏名 (評決委任者を含む)  
大島 一正、井手 竜也、三田 敏治、大原 昌宏、阿部 芳久、坂巻 祥孝、立田 晴記  
松尾 和典、秋元 信一、上田 昇平、山田 量崇、吉田 貴大、佐野 正和、岸本 圭子  
市岡 孝朗、山本 周平、林 成多、前藤 薫、末吉 昌宏、中濱 直之、小野 正人  
松浦 健二、中尾 史郎、曾田 貞滋、久保田 耕平、沼田 英治、鈴木 誠治、五箇 公一  
蓑島 悠介、高須賀 圭三
- (4) 総会に出席した役員の氏名  
理事  
広渡 俊哉、市岡 孝朗、紙谷 聡志、三田 敏治、屋宜 禎央、鈴木 誠治、徳田 誠  
坂巻 祥孝、江口 克之  
監事  
大原 昌宏、野村 周平
- (5) 総会議長の氏名  
大原昌宏 会長
- (6) 決議事項及び報告事項  
報告事項 (カッコ内は報告者)  
1. 庶務幹事報告 (庶務担当 紙谷 聡志)  
2. 渉外・事務幹事報告 (渉外・事務幹事 井手 竜也、代読 紙谷)  
3. 図書幹事報告 (図書幹事 神保 宇嗣、代読 紙谷)  
4. 編集委員会報告 (委員長 坂巻 祥孝)  
5. 自然保護委員会報告 (委員長 林 成多)  
6. 日本の昆虫編集委員会報告 (委員長 山田 量崇)  
7. 電子化推進委員会報告 (委員長 上田 昇平)  
8. 大会支援委員会報告 (委員長 吉澤 和徳)  
9. 日本昆虫目録委員会報告 (委員長 三枝豊平)  
10. 将来問題検討委員会報告 (委員長 大島 一正)  
11. 男女共同参画推進委員会報告 (委員長 中尾 史郎)  
12. 選挙管理委員会報告 (委員長 市岡 孝朗)  
13. 日本 ICIPE 協会に関する報告 (協会委員 佐藤宏明)  
14. 自然史学会連合に関する報告 (連合昆虫学会代表 矢後 勝也、代読 広渡)  
15. 日本分類学会連合に関する報告 (連合昆虫学会代表 広渡 俊哉・井手 竜也)  
16. 国際昆虫学会議に関する報告 (国際昆虫学会評議委員 深津 武馬、代読 紙谷)  
17. 日本昆虫科学連合に関する報告 (連合昆虫学会代表 阿部 芳久)

18. 2022 年度大会の日程と開催地（会長 広渡 俊哉、昆虫学会側の大会事務局代表  
田中一裕、大会支援委員会委員長 高須賀 圭三）

19.その他

協議事項

1. 2022 年度決算, 会計監査
2. 2023 年度予算
3. 名誉会員の推薦
4. 任期満了に伴う理事, 委員長を選任（投票）
5. その他

（7）議事の経過の概要及びその結果

報告事項

- ・庶務幹事報告：内規等中の会誌名である英文誌および和文誌を、それぞれ「Entomological Science」および「昆虫（ニューシリーズ）」に変更を行うこと、編集部規則の名称に変更を行うこと、編集委員会内規第4条に変更を行うこと、編集委員会内規第2条に変更を行うことが全会一致で承認された。
- ・渉外・事務幹事報告：主たる事務所の所在地（茨城県つくば市）を管轄する土浦年金事務所厚生年金適用調査課による厚生年金保険・健康保険加入状況の調査に対応した。
- ・図書幹事報告：2022 年 11 月より、J-STAGE のダークアーカイブ（記事の長期保存サービス）である、Portico によるバックアップの利用を開始した。
- ・編集委員会報告：2022 年に受領した原稿数（149）は、減少した前年に引き続いてやや減少した。採択率は 24.8%。2021 年のインパクトファクター1.294 から下がって、2022 年は 0.9 となった。原稿中で使用されている材料が関係国の法令等に従って適正に取り扱われたものであることを、Editorial System での投稿時にすべての著者に対して確認する仕様に変更する。  
「昆虫（ニューシリーズ）」誌編集報告：2022 年 9 月 5 日に信州大学およびオンラインにおいて開催された代議員総会での承認を受けて、昆虫（ニューシリーズ）の投稿規定を 2022 年 12 月 25 日付で改定した。
- ・日本の昆虫編集委員会報告：執筆要領と編集委員会規定は学会ホームページを参照してください。
- ・電子化推進委員会報告：旧ウェブサイトは SSL 暗号化されておらず、情報が漏洩する可能性があったため、ウェブサイト全体の SSL 暗号化（HTTPS 化）をおこなった。セキュリティとメンテナンスの大幅な強化が行われた。あきつ賞のロゴマークの検討を行った。
- ・大会支援委員会報告：第 83 回佐賀大会の実行委員を支援する一連の支援業務を行った。また吉澤は、仙台合同大会の準備会議にも加わっている。
- ・日本昆虫目録委員会報告：第 6 巻鞘翅目の編集刊行が著しく遅滞している。第 7 巻鱗翅目は蝶類の部が既刊されている。蛾類については編集状況の著しい遅滞を改善すべく当初から就任の上田恭一郎委員、神保宇嗣委員に加えて広渡俊哉委員、坂巻祥孝委員、屋宜禎央委員）を含めて現在鋭意編集が進められている。

・将来問題検討委員会報告：諮問1（会員の活躍の支援）に対して、1）昆虫（ニューシリーズ）にて、国外手続きの企画に加えて、国内の調査許可手続きに関しても、情報交換を行う企画を設ける。また、昆虫ニューシリーズにおける当該記事をまとめたページを学会ウェブサイトにて設け、コメント機能の付与等も検討する。ただし、許可申請については国内でも続々と変更や追加があり、かつ担当者によって判断が異なる場合もあるため、これらの点に関しては十分に注意を促す必要がある。2）昆虫学会という法人として、ABSに関連した締結を行う。実現すれば学生や若手の支援にとどまらず、学会としてのプレゼンス向上にもつながると考えられるが、締結に係る多大な作業の担い手、旅費も含めた事務作業に伴う費用、問題が生じた際に学会が負う法的な責任など、実現可能性だけでなく、締結できたとしても運用面で多大な問題が生じる可能性もある。諮問2（女性会員の増加、活躍の支援）男女共同参画委員会に実働を依頼し、有効に活用して下さい。解決に向けた具体的な取り組みだけでなく、会員における男女比の動向や年代別の傾向といった基礎情報の収集も行なって下さい。男女共同参画委員会の取り組みに関して、将来問題検討委員会の委員に行った「期待するアクション」に関するアンケート結果を示した。

・男女共同参画推進委員会報告：1. 2022年10月開催の男女共同参画学協会連絡会第20期のシンポジウムに参加した。男女共同参画学協会連絡会の学協会対象アンケートに回答した。3. 2023年3月に、会員・年次大会参加者などの男女や年齢の構成把握（記録）について、理事（学会長）・大会委員長に要望を提出した（不承認）。

・日本ICIPE協会に関する報告：、規約を改定し、組織の名称を変更することが本年度の総会（2023年3月14日開催）で決議された。

・自然史学会連合に関する報告：連合総会を2022年12月4日にZoomによるオンラインで開催した。

・日本分類学会連合に関する報告：第22回総会は2023年1月7日（土）にオンラインで開催された。標準和名問題検討ワーキンググループの設置が承認された。

・国際昆虫学会議に関する報告：第27回国際昆虫学会議が2024年8月25-30日に京都国際会館で開催する。

・日本昆虫科学連合に関する報告：2023年6月10日、オンライン会議において総会が開催された。同日、第13回日本昆虫科学連合・日本学術会議公開シンポジウム「安全安心な未来の食料生産を考える 一昆虫がつなぐ2050年の食生活」がオンラインで開催された。

・2024年度大会の日程と開催地：日本昆虫学会第84回大会・第68回日本応用動物昆虫学会大会 合同大会は仙台国際センターにおいて、2024年3月28（木）～31日（日）に開催予定。

## 決議事項

・2022年度決算、会計監査：原案の通り全会一致で可決された。

・2023年度予算：原案の通り全会一致で可決された。

・名誉会員の推薦：名誉会員候補者として多田内 修会員が推薦され（推薦者：代表理事 広渡 俊哉、庶務担当理事 紙谷 聡志、代議員 阿部 芳久）、無記名投票の結果承認された。（投票数：24名）

・理事、監事、委員長の選任：無記名投票により、以下の理事・監事・委員長予定者の全員が選任された。（投票数：24名）

理事候補者

高須賀圭三 宮城学院女子大（大会理事予定）

東城幸治 信州大学（編集理事予定）

江口克之 東京都立大学（編集理事予定）

（他の理事は任期途中につき留任）

委員会委員長候補者

東城幸治 信州大学（大会支援委員会予定）

（他の委員会委員長は任期途中につき留任）

以上、上記決議を明確にするため本議事録を作成し、議長（議事録作成者）および議事録署名人が次に署名押印する。

会長

代議員

代議員